兵庫県立むこがわ特別支援学校 キャリア発達段階表		ステップ1	ステップ2	ステップ3	基礎的•汎用的能力
知識・技能	役割の理解④	職業や働くことへの興味関心をもつ	主体的な自己の役割や責任を遂行する	他者と分業・協業の仕組みを理解・遂行する	①人間関係形成・社会形成能力
作業の能力、正確さ、速度、創意工夫、クオリティー等	情報活用能力③	身の回りのさまざまな情報へ関心をもつ	様々な情報収集と生活への活用ができる	職業・社会生活に必要な情報収集と活用が できる	多様な他者の考えや立場を理解し、相手 の意見を聴いて自分の考えを正確に伝え ることができるとともに、自分の置かれて
働くための基本的習慣	挨拶・言葉遣い①	挨拶・丁寧な言葉遣いを習慣化できる	自主的に丁寧な言葉であいさつできる	TPOに応じた挨拶・言葉遣いができる	いる状況を受け止め、役割を果たしつつ 他者と協力・協働して社会に参画し今後 の社会を積極的に形成することができる
ビジネスマナー 報告・連絡・相談、	報告·連絡·相談①	報告・連絡・相談の必要性を理解する	報告・連絡・相談を習慣化できる	自主的な報告・連絡・相談が遂行できる	カ /=
規則の厳守等、職場のルール	遵法·安全管理③	家庭や学校のルール等の知識の習得	社会のルール等を各生活場面での体得	集団のルールを遵守・危険を予測し行動できる	【具体的な要素】 〇他者の個性を理解するカ 〇他者に働きかけるカ 〇コミュニケーション・スキル 〇チームワーク
社会生活能力対人関係	意思表現①	日常生活に必要な意思表現ができる	自分が嫌なことは断ることができる	自分の意思を相手に分かりやすく表現できる	
コミュニケーション、協調性身だしなみ、意思表示	集団とのかかわり①	集団活動に意欲的に参加できる	集団活動での役割認識・他者理解ができる	他者の考えの尊重や集団内での役割遂行ができる	②自己理解・自己管理能力 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を
日常生活管理 基本的生活リズム	習慣・マナー②	家庭や学校における基本的生活習慣が身についている	社会における基本的生活習慣が身についている	公共の場で必要なマナーが身について いる	保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼう
規則正しい生活	スケジュール④	学校での日課、スケシュールに合わせて生 活できる	家庭・学校での1週間のスケジュールに合わせ て生活できる	目標に向けた計画とそれに伴うスケジュール に合わせて生活できる	とする力 【具体的な要素】
就寝起床 地域生活等、金銭管理、 買い物	金銭の扱い④	お金を渡して買い物ができる	値段に応じたお金が出せる	持っているお金で買えるものが分かる	〇自己の役割の理解 〇前向きに考えるカ 〇自己の動機づけ 〇忍耐力、ストレスマネジメント
トイレ・排泄 衣服	振り返り③	遊びや活動の振り返りができる	間違いや失敗の原因が分かる	活動の反省点を次の活動に生かすことが できる	
心と身体の健康管理	心のコントロール②	自分の気持ちを把握し、自分で心を落ち 着かせることができる	課題解決のための選択肢の活用・模索がで きる	課題解決のために自己調整ができる	③課題対応能力 仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切なオートがです。
正しい食事と健康管理 服薬 通院	健康管理④	健康に対する意識を持ち運動を習慣化 できる	自分で健康管理ができ、日常生活や作業 に必要な体力を身につける	社会生活や職業生活に必要な体力を身につける	理し、解決することができる力 【具体的な要素】
職場での心のフォロー ストレスマネジメント等	食事②	自分の力で食事ができる	食事の準備・後片付けができる	健康に配慮して好き嫌いなく食事ができる	○情報の理解・選択・処理 ○原因の追及 ○課題の発見 ○計画立案 ○評価・改善
「自分らしく生きたい」	自分を知る②	自分や他人のよさに気づく	達成感に基づく自己理解ができる	自他の個性の尊重ができる	
という意欲	夢・目標②	目標をもち、意欲的に活動する	将来への夢や職業への憧れをもつ	進路希望を具体化し、新しい生活への期待 と目標をもつ	
なぜ働くのか意識の確立社会人としての自己実現	自己選択・自己決定③	自分の遊びや活動の選択ができる	自分の個性に合ったよりよい選択ができる	職業・社会生活を意識した正しい自己決定 ができる	④キャリアプランニング能力 働くことの意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて
	やりがい④	人に感謝される喜びを感じる	人の役に立つ喜びを感じる	社会の役に立つ喜びを感じる	「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリア
ともに生きる力	他者と関わる力①	人と心地よく関わることができる	心地よい距離感を理解し、行動できる	男女の違いを理解し、思いやりをもち、場に 応じた適切な関わり方ができる	を形成していく力 を形成していく力 【具体的な要素】
支援を受ける気持ち 障害受容	支援を受ける力①	スムーズに支援を受けることができる	自ら支援を求めることができる	必要に応じて支援を求めることができる	( 具体的/4 安宗 ) ○学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 ○将来設計 ○選択 ○行動と改善
社会資源の活用	聞く力①	話を聞くことができる	話の中で相手の考えや意見に気づく	話し合いを通して、自分とは違う意見を受 け入れる	

基礎的汎用的能力 : ①人間関係形成・社会形成能力 ②自己理解・自己管理能力 ③課題解決能力 ④キャリアプランニング能力